

# 令和7年度 人権啓発講演会

竹中俊さん講演会 令和7年11月1日開催

## ☆☆☆ アンケート結果 ☆☆☆

出席者 141名 (回答 120名)

### 1 年齢を教えてください。差し支えのない範囲でお答えください。【年齢】

□10歳代	4名	【 3%】
□20歳代	1名	【 1%】
□30歳代	12名	【 10%】
□40歳代	33名	【 28%】
□50歳代	20名	【 17%】
□60歳代	21名	【 18%】
□70歳代	19名	【 16%】
□80歳以上	9名	【 8%】
□無回答	1名	【 1%】

### 2 あなたのお住まいはどこですか。

□笠岡市	96名	【 80%】
□里庄町	3名	【 3%】
□浅口市	4名	【 3%】
□井原市	0名	【 0%】
□矢掛町	2名	【 2%】
□倉敷市	6名	【 5%】
□岡山市	0名	【 0%】
□その他県内市町村(総社市)	3名	【 3%】
□福山市	3名	【 3%】
□その他県外市町村(和歌山県, 高知市)	3名	【 3%】
□無回答	0名	【 0%】

### 3 今回の講演会を、どのようにしてお知りになりましたか。(複数回答可)

□笠岡市ホームページ	8名
□笠岡市公式LINE	8名
□テレビ(笠岡放送, その他)	6名
□チラシを見た ( 笠岡東公民館, 小学校, 大島公民館, PTA配布, 図書館, 中央小学校, 市役所 )	25名
□広報かさおか	17名
□知人, 家族から聞いた	18名
□その他 ( 小学校PTA, 市からの送付, 俊さんのインスタ, SNS, 中学校PTA, 中央小学校, 笠岡市からのメール, 職場 )	59名
□無回答	0名

4 講演会に参加して、人権問題についての関心や理解は深まりましたか。

□大変深まった	79件	【66%】
□ある程度深まった	15件	【13%】
□深まった	20件	【17%】
□あまり深まらなかつた	0件	【0%】
□深まらなかつた	0件	【0%】
□無回答	6件	【5%】

5 講演を聞いて、考え方などに変化がありますか(複数回答可)

□家族、友人、仲間を大切にしようと思った。	72件
□困っている人の役に立ちたいと思った。	61件
□多様な価値観を尊重することの大切さを感じた。	74件
□人権問題について理解を深めたいと思った。	46件
□その他（すごい生き方があると思った。幸せというものは身近な所や物にある、見逃さないようにしたい。当たり前のことを見せと感じ言葉にしようと感じた。自分にできることをやり続けたい。）	4件
□無回答	2件

6 講演会の内容は、満足のいくものでしたか。

□大変満足	90件	【75%】
□おおむね満足	29件	【24%】
□やや不満	1件	【1%】
□大変不満	0件	【0%】
□無回答	0件	【0%】

7 今後もこのような講演会を行うべきだと思いますか。

□積極的に行うべき	92件	【77%】
□時々行うべき	26件	【22%】
□改善するべき(理由:講演というやり方について聞いているのか、内)	1件	【1%】
□無回答	1件	【1%】

8 今回の講演内容で心に残った言葉やご感想をご記入ください。

## 8. 心に残った言葉や感想

感 想
自分が幸せでなければ相手を幸せにできない。今、自分自身がいっぱいあまり心の余裕がないので、我が子に対しての接し方がきつくなったりするので、この言葉を聞いてはっと気づくことがありました。
今の自分が豊かであると思い感謝しています。
なかなかできない事を若さ・パワーで頑張ってされているので感心しました。その体験を聞くことができてよかったです。
ネパールの子どもの事を聞いて、日本人は恵まれている・恵まれすぎていることを考えること、原点に戻り考えること。
目の前の人をまず幸せにしたい。自分も幸せであることを前提に。そこから世界を広げていきたい。
ネパールは海がないと知った。
自分が笑顔でないと子ども達も幸せじゃない。
テレビ等で報道されない事例を知ることができて大変よかったです。ネパールの金持ちの生活や考え方を紹介してほしかった。
カースト制度について
時間と命。健康と言葉の大切さ。子ども達から教えられる事がたくさんある。考え方を変えると自分も変えられる。
人種差別の深さを改めて知る。
世界には、生活に変な人がいることがわかつても、実際に映像で見るとショックでした。感動しました。
それは人生に必要なものなの？地球環境を考えたナプキン製造方法で感動した。お金じゃなく工夫、本当にそう思う。
すばらしい人、コツコツから現状に至るまでの活動。
竹中さんの活動に感銘を受けました。行動にする事は難しいですが、何か小さな事からでもできたらと思います。時間は命。大切にします。
自分にもできることを考えたいと思います。
どこの国も問題を抱えていると思う。色々な考え方があるが、今日は参考になった。日本はまだ恵まれているとつくづく思いました。
外国は旅行で訪ねるところという認識になってしまっている。ヒンズー教のカースト制度や望まぬ妊娠のお話など初めて聞くことでびっくりした。月経小屋の話も。若者がこういうことに関心を持って活動していることに感動しました。
初めて「アウトカースト」という言葉と内容を知りびっくりしました。
生きていく上で必要なものかどうか
「はんぶんこ」の意味。限りあるものをわけるということ。それは人生に必要なものなの？映画をぜひ子ども達にみせたいと思いました。来年、中学校のP人権で親子でみたいです。
限りあるものを分けることに幸福を感じるとの話を聞いて素敵だなと思いました。和歌山での上映会、たくさんの方に見ていただきたいと思いました。
個人で、モヤモヤ感じたことにひとつひとつ向き合いながらここまで来られたのをすごいなと思いました。あり余ってるから分け与えるのではなく、「はんぶんこ」の幸福感に心を寄せていくたいと思いました。ホームステイ先のママの言葉を大切にしている。言葉が健康を守ってくれるということ。
家族・友人・仲間の大切さ
時間=命。前向きな言葉が幸せにきずくことができるということ。
少しでも将来や夢を持って生きていける世界になるようにしたい。
病気にならないためには、「言葉」に気をつけること。一人の青年の人権意識・感覚がネパールの貧困を解決する活動の広がりを生んでいることに感銘を受けました。また、行動力の素晴らしさもすごいと思いました。

実際に体験・経験している事を気さくな話し方で伝えていただき聞きやすかった。
①時間＝命 ②食事・睡眠・言葉。今の私には考えていないことでした。日本の豊かさは心の豊かさとはかけはなれている。長生きするための詳しい価値をいただきました。
ネパールの貧富の差、貧困、教育不足、宗教の迷信、カースト制度等の深刻さがよく分かりました。
「人生において必要か？」と言われたママの言葉がすごく心に残りました。「幸せ」を考えられました。
今の日本では考えられないような悲惨な環境に驚き。(生理小屋)
素敵なお話をされているなと思いました。色々と考えさせられる講演でした。
竹中さんの活動はインスタグラムで見ていましたが、ご本人から直接お話を聞きすることができ、とても感動しました。とても貴重な時間をありがとうございました。今の人生で、もっと身近な幸せや大切な人に目を向けて生きていきたいと考えさせられました。
「人生において必要？」「あびる言葉からエネルギーをコントロールされている」「幸せって？」「(今日・明日)生きていけると思える安心感」物があるだけでは幸福ではない。言葉って大切だと感じている。
自分の生活は彼らのおかげ。幸福度を感じるレベルが低い。はんぶんこの意味。
支援されることすばらしいと思いました。モヤモヤをそのままにされない行動できること尊敬します。
「時間を使う」ことは「命を使う」ということだから、これからどう生きていくか。子ども達に(我が子たちに)どう生きてほしいか考えたいと思った。日本は豊かすぎて「足りない・足りない」「もっと豊かになりたい」と目の前の幸せに目を向けられていないんだと思います。日々の小さな幸せに目を向けて生きていい。そんな姿を子ども達に見せたいと思った。
とても考えさせられるお話をしました。今回は1人で来たのですが、子どもも一緒に連れてきたらよかったです。今の子ども達に聞かせてあげたいお話をばかりでした。
幸福感について。物やお金で満たされるものではないこと。でも、お金や最低限の暮らしを支えることは大事と思う。行政の支援は？
時間＝命。感動しました。
すべてが心にささりました。ママの「それは人生に必要なもの？」という質問。病気にならないために、言葉を大事にしている。7歳と9歳の子どもに夢を聞いたときに「来世では〇〇になりたい」と言ったこと、小さい子ども達が人生を悟ってそのような発言をしたのを聞いた時、なぜだか涙が出た。ちょうど私の子どもも7歳と9歳だったので。
今の子ども達に見せたい内容でした。
限り、幸福度のレベル、斜め上の存在
教育の大切さ。「ことば」が一番大切だということ(必要なもの)。
限りあるものを分け合って生きる=はんぶんこ。豊かさとは良い考える機会でした。
70代になって、老後のこと、終活の方へ考えが向いていますが、何かできることがまだあるかなと考えさせられた。まだまだ前を向いて生きてみようと少し頭があがりました。
社会課題の解決に若い人が取り組むケースが増えています。竹中さんをはじめ、そういった人の考え方や生き方は、自分の生き方にとても参考になります。
時間＝命。自分に大切なのは物ではなく、有意義な時間を持つことだと改めて感じました。
生き方、価値観を考えさせられる内容で、とても興味深いお話を聞くことができました。
当たり前に心をよせて感謝。浴びる言葉によりエネルギーがコントロールされる。
山の上のお母さんが、命を使ってかせいだお金を、命にとって必要なものではない便利なものを買うものに使うのは、命を大切にしてないことにならないかとおっしゃったこと。病気にならないために使う言葉を大事にしていること。
カースト制度は知ってはいたけれど、現実に今もしっかりと残っているということにショックを受けました。変えられない風習の中で、苦しんでいる人に手をさしのべていく活動をされていること。
人としての幸せの本質とは何かを考えさせられました。自分にできることは何かないかを考えていきたいです。よい講演をありがとうございました。
今、抱えている悩みがとてもちっぽけなもののように思え、明日からがんばろうと思えました。

時間の使い方が命の使い方であるということを意識しながら生活をしようと思います。
人生にとって大切な物とは。病気にならないために言葉を選ぶ。
ポジティブな言葉で病気にならないようにする。身分によって、見てはいけない、触れてはいけないなど平等な生活ではないんだと強く心に響いた。私たちは、それ以上に幸せな生活をしているんだなど改めて考えさせられた。
貧困問題を初めて間近に聞いて驚いた。何もわからかったので知れてよかったです。自分の子どもにも伝えていきたい。子どもと一緒に世界の子を助けてあげたいと思った。
時間=命。言葉を意識して日々の幸せに目を向けて生きていきたい。
今ある幸せを実感できた。
言葉はエネルギー。感情は与えることができる。
障がい者や困っている人の役にたちたいと思った。
国が違うと大きな考え方があり、知ることの大切さを認識しました。ネパール現地で、身近なことから視野を広げて活動をされていることはすごいなと思いました。限りあるものを分ける大切さを知ることができてよかったです。
子どもの本質、心を知れたように思います。「生まれた時はみんな同じ」環境により子どもの性格等、できあがっていくと思います。今、置かれた環境を大切に子どもと接していくうと思いました。
私は今14歳です。来年中学3年生になって受験です。俊さんのお話を聞いて、自分と近い年齢の子どもが、大変な状況になっている事をリアルに教えてもらって、私もそんな活動がしてみたいと思いました。ありがとうございました。
日々の幸せを大切にしようと思いました。
ふつうの生活が幸せだと感じた。心の幸せを意識した。貧困の現実を知り、教育の大切さを感じた。現実的には、活動するために経済的に大変。支援できることがあればしたいと思った。本当に大切なものは何かを考えさせられた。ありがとうございました。
アウトカースト=不可触民、初めて聞いた言葉。ショックを受けた。そういう身分制度のもとで生きていかなければならない。活動を続けている竹中さん。すごいと思う。
すべてが感動した講演でした。
病気にならないために「ことば」に気をつけて生活していること。日本の子ども達を取り巻く社会の環境も変化しています。社会的養護下にいる日本の子ども達に關しても、ネパールの施設で暮らす子ども達も背景に大差はないと思いました。衣食住の満たされた後の子ども達の支援というものが、この講演を聞いての「多様な価値観」の中でどのように地域社会で構築していくのが課題なのかなと思います。竹中さんがおっしゃっていたように、子どもに關心を持つことが大切だと思います。幸せは人それぞれかもしれないけれど、「自分が大切にされている実感」を得られた(得られる)こと、子ども達にはこれが大事だと思いました。
時間と命の使い方。楽しむ人生。持っている人権と権利。剥奪される権利を知り得た知識の大切さを感じました。幸せを感じる力。人生に必要な物って何なのかを考えるってことを感じました。
大変心に残りました。頑張ってください。日本でも同じようなこともあると思います。
ありがとうございました。言葉。
自分が幸せでないと回りも幸せではない。
「健康で生きていくために言葉を意識している」というネパールのホストマザーの言葉にはっとさせられました。
カースト制度の中ではなく、アウトカーストという身分があるというのが驚いた。人権問題についてよく考える時間となってよかったです。
1日1回は誰かのためになることをする努力しています。歳が歳ですのであまりできませんが…。
病気にならないために言葉を選ぶ。
時間は命。病気にならないために言葉を選ぶ。日々大切に過ごしていこうと思いました。
時間を使うということは命を使っているということ。何のために仕事をしているか、お金の使い道について、人生の豊かさについて考えさせられました。子ども達に是非聞いてもらいたい内容でした。私が日頃から不自由なく生活している我が子に対して言葉で伝えているけど伝わらなく、響かないことと同じ内容を竹中さんは話されていました。現代の子供達にはどうやったら伝わるのでしょうか。

ネパールの話が衝撃的でした。カースト制度が廃止されているのに、昔からの慣習によって子供達が苦しめられていることに胸が痛くなりました。子供達を救いたいという想いで活動されている竹中さんに感銘を受けました。世界中の子供達が安心して暮らせる世の中になればいいなと思いました。竹中さんのお話を聞くことができてとても勉強になりましたし、心の幸福度について考えたいと思いました。

ありがとうございました。

心の豊かさとは何か、幸せとはと改めて考える機会になりました。家族との時間、経験大切にしたいです。